

2018年5月21日
FCA ジャパン株式会社

「Fiat 500C 60th」を発売



- Nuova 500 の誕生 60 周年を記念した特別な限定車
- “伝統”をまとうオーセンティックなエクステリア
- 内装はビンテージとモダンを融合した上質な仕立て



FCAジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：ポンタス・ヘグストロム）は、「Fiat 500C（フィアット500C）」の限定車「500C 60th（シックスティース）」を、5月21日（土）より全国のフィアット正規ディーラーにて50台限定で販売します。Nuova 500の誕生60周年を記念した当限定車は、内外装に数々の専用装備を採用した特別感溢れる1台となっています。

500C 60thは、装備の充実ぶりを特徴とする「1.2 Lounge」をベースに、限定車ならではの特別な2トーン・ボディカラー「ビコロレ」を採用したモデルです。車体の上下を異なる色で塗り分けたビコロレは、Nuova 500が誕生した1957年以前からフィアットが採用していた伝統的なカラースキームです。当限定車ではアイボリーとアイスホワイトを組み合わせ、歴史あるビコロレをモダンなタッチで再現しました。



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE



さらにエンジンフードのクロームラインやクローム仕上げのエクステリアミラーハウジング、2トーンの専用アルミホイールといったエクステリアパーツや、往年のFIATエンブレムをモチーフとしたFIATビンテージロゴ、「60」の文字をあしらったBピラーの60thロゴなど、伝統と遊び心が融合したチンクエチエントらしい表現が用いられています。

インテリアはアイボリーを基調に、鮮やかなボルドーが随所に散りばめられています。上品さが漂うアイボリーのレザーシートにボルドーのパイピングがアクセントとして取り入れられているほか、大胆なボルドーのダッシュボード、ボルドー／ブラックのフロアマットなど限定車ならではのカラーリングによりビンテージとモダンが調和した仕立てが特徴です。さらに様々な情報を鮮明なカラー液晶パネルに表示するTFTメータークラスターも特別装備しています。

歴代モデルから引用した特別なカラースキームや専用装備により、特別感が演出された 500C 60th。'50 年代に Nuova 500 が移動の喜びを世間に広く伝えたように、500C 60th も乗る人や一緒にいる人を高揚させる、イタリアらしさに溢れた 1 台に仕上がっています。

Nuova 500 とは

1957 年に誕生したチンクエチエント「Nuova 500」は、当時はまだ夢のような存在だった自動車を人々の身近な存在にした、イタリアの国民車として親しまれました。その人気はヨーロッパ中に広まり、1975 年に生産が終了するまでに 367 万台以上が出荷されました。なお車体は屋根を開けて走ることができるキャンバストップを採用しており、その特徴は現代の 500C に受け継がれています。

**<車両概要>**

【モデル名】	Fiat 500C 60th (フィアット500Cシックスティース)
【ボディカラー】	ビコロレ (973) -アイスホワイトTC+アイボリー 内装アイボリー/ボルドー (460)
【販売台数】	限定50台
【特別装備】	ビコロレ、ビューティライン (サイド) クロームライン (エンジンフード) クローム仕上げエクステリアミラーハウジング FIATビンテージロゴ (フロント、リア、ステアリングホイール) 60thロゴ (Bピラー) 16インチアルミホイール ボルドーシートパイピング ボルドーインストルメントパネル フロアマット キックプレート TFTメータークラスター
【メーカー希望小売価格】	2,840,400円 [税抜 2,630,000円]
【主な仕様】	エンジン：直列4気筒 SOHC 8バルブ (可変バルブタイミング付) 排気量：1,240cc 燃費(JC08モード)：19.4km/ℓ 最高出力：51kW(69ps)/5,500 rpm [EEC] 最大トルク：102Nm(10.4kgm)/3,000 rpm [EEC] トランスミッション：ATモード付5速シーケンシャル (デュアロジック) ハンドル位置：右

※詳細はオフィシャルサイトをご覧ください
(<http://www.fiat-auto.co.jp/limited/500c60th/>)

以上